

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-12562(P2003-12562A)

【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)

【出願番号】特願2002-106400(P2002-106400)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/32

// A 6 1 K 31/405

【F I】

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 31/405

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月5日(2005.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a. 活性成分 / 樹脂複合体(前記活性成分はイオン化可能である) ; および

b. ロードされていないイオン交換樹脂

を含む投与フォーム。

【請求項2】

a. 活性成分 / 樹脂複合体(前記活性成分はイオン化可能である) ; および

b. ロードされていないイオン交換樹脂

を含み ;

レジネートにおいて使用されるイオン交換樹脂の架橋度、イオン交換樹脂の架橋度、レジネートの粒子サイズ、イオン交換樹脂の粒子サイズ、レジネートにおいて使用されるイオン交換樹脂の官能基のpK、イオン交換樹脂の官能基のpK、放出メディア中の活性物質の溶解度、放出メディアのイオン強度およびpH、活性物質のpK、活性成分の分子量、放出メディアの温度、およびイオン交換樹脂の透過性膜でのコーティング、レジネートの透過性膜でのコーティングからなる群から選択される变量または前記变量の組合せを変えることにより、前記活性成分の前記投与フォームから放出メディア中への放出速度および吸収速度が変更され得る投与フォーム。

【請求項3】

a. 活性成分 / 樹脂複合体(前記活性成分はイオン化可能である) ; および

b. ロードされていないイオン交換樹脂

を含み ;

ロードされていない樹脂および / またはレジネートを、放出および吸収が望まれる部位で溶解する非透過性膜でコーティングすることにより、前記投与フォームの放出および吸収が起こる部位が変更され得る投与フォーム。

【請求項4】

前記活性成分 / 樹脂複合体が、ジクロフェナック / コレスチラミン ; パロキセチン / カルボン酸官能基を有し、重量容量が0.1 ~ 1.4 meq / g であるアクリルまたはメタク

リル系弱酸性カチオン交換樹脂からなる群から選択され；前記のロードされていない樹脂が、重量容量が0.1～6m eq/gの第四アミン官能基を有するスチレン系強塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が0.1～8.5m eq/gの第三アミン官能基を有するスチレン系弱塩基性アニオン交換樹脂、重量容量が0.1～8m eq/gの第四アミン官能基を有するアクリルまたはメタクリル系強塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が0.1～1.2m eq/gである第三アミン官能基を有するアクリル系またはメタクリル系弱塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が0.1～2.4m eq/gである第一、第二、または第三アミン官能基を有するアリルおよびビニル系弱塩基性アニオン交換樹脂、および重量容量が0.1～8m eq/gであるスルホン酸官能基を有するスチレン系強酸性カチオン交換樹脂からなる群から選択される請求項1記載の投与フォーム。